

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちよう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として、高齢化がすすみ地域活動の参加者が減少し、また地域活動の担い手も活動の継続が難しくなっているのが現状です。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など地域活動への協力を行います。また外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制を継続・実施していきます。

☐ 今年度の重点的な取組新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| ☐ | ■ | 介護者のつどいを隔月で開催します。またミニコーナーでは相談機関や認知症などの対応を伝える場づくり、家族支援を行うために信頼関係を構築していきます。 |
| ☐ | ■ | ケアプラザだけでなく、地域のさまざまな場所で事業を開催し、定期的な高齢者の居場所を作っていきます（楽遊会/月1回実施、脳いきいき中屋敷教室/年6回実施、宝寿会/年3回実施）。介護予防講座を上飯田地区センター、中屋敷自治会館、中村会館等で実施していきます（共催）。 |
| ☐ | ■ | 地域の状況も変わりつつあるため、改めて地域ニーズと地域資源の状況把握（地域アセスメント）に重点をおき活動していきます。 |
| ■ | ☐ | 活動に関して地域の方からの要望に応じていくとともに、その活動を担う人材も育成していく。活動の目的を立て、自主的な活動となるよう支援していきます |
| ■ | ☐ | 地域交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと連携して食事をしながら子供たちと交流が出来る食堂を学校が休みになる春・夏・冬休みの一部期間で行ないます。認知症のVR体験も取り入れて子供たちにも認知症について学んでもらえるようにします。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

○参加者同士で積極的に声をかけあっていて良い関係ができていました。集いの際は認知症についての説明や声のかけ方、介護する方が注意した方がいいことを伝えるようにしました。参加者の方々と信頼関係構築のために各参加者の話を傾聴するだけでなく、合間にはまちゃん体操や脳トレ等のレクリエーションも取り入れて関係構築とともに楽しく参加できる場作りを行ないました。

○地域のさまざまな場所で事業を実施することで、高齢者が身近な場所で気軽に参加できる定期的な居場所づくりを進めることができました。楽遊会（月1回）、脳いきいき中屋敷教室（年6回）、宝寿会（年3回）を継続的に実施し、外出や交流の機会の確保につながりました。また、地区センターや自治会館等と共催で介護予防講座を開催し、地域全体の介護予防意識の向上を図りました。さらに、各サロンで生活習慣病の普及啓発を行い、健康意識の向上につなげました。

○上飯田町内の地域散策を行い地域アセスメントを実施しました。想像以上に地域の状況に変化があり、特に家を取り壊して新築されている光景が見られたり、今まであった商店なども閉店していました。そうしたなか、新たな福祉施設とつながりを持つ事ができ、地域貢献事業を通じて地域ニーズと結びつける事ができました。次年度も、引き続き地域状況を調査していきます。

○今年度はラジオ体操と太極拳を開催したいという地域の声に応じて、まずはケアプラザ自主事業として開催しました。来年度には地域の方々が主催の事業となるよう代表者の方と話し合っています。

○夏休み期間を活用して食事を通じた多世代交流の場を実施しました。認知症VR体験も行い、認知症について学ぶきっかけづくりにつながりました。12月には多世代交流を継続する取組として映画上映会を実施し、当事者や地域住民が安心して参加できる交流の場を提供することができました。

☐ 区からのコメント

・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランに基づき、各種取組を進めていただいています。特に、高齢者の生活支援の充実に向けては、福祉施設の送迎車両を活用した移動支援の実施や、地区踏査等を通じて把握した地域ニーズを、施設や企業等の地域貢献事業へと結びつけ、さまざま取組を実施していただきました。次年度も引き続き、多様な主体と連携した取組の推進を期待しています。

・広報誌・SNS・出張相談会など多様な手法を活用して周知や相談支援を進めるとともに、地域資源の把握や認知症理解の促進、多世代交流の場づくりなど、地域に根ざした取組を着実に展開していただきました。消費者被害防止やエンディングノート講座、介護者のつどい等に加え、ケアマネジャー支援や関係機関との連携強化にも取り組み、地域の課題に応じた支援体制づくりに寄与しています。今後も、地域全体を見据えた継続的な周知と相談支援、介護予防の推進を期待します。

・限られた予算内で、幅広い内容と福祉的に深い支援が展開されています。

・相談支援や地域アセスメント、住民主体の活動支援、社会資源との協働など、地域に根ざした多様な取り組みが着実に進められています。サロンや居場所づくりなど、地域のつながりを育む活動も活発に行われ、参加しやすい環境づくりが整っています。また、関係機関や行政との連携により、支援体制が広がっています。今後も、地域課題に寄り添いながら、住民が安心して暮らせるまちづくりの推進に期待します。